

「CR(コラボティブリサーチ)」における生徒の変容を評価するルーブリック(CRb)

項目 達成段 身につけたい力	[ C ](1~4点) チェックが1つ もつかない場 合は1点	[ B ](5~7点) (第2学年での達成目標)	[ A ](8~10点)	自己 評価
<b>① 課題の設定力</b> <定義>解決したい, 解決すべき問題や 仮説を設定する	<input type="checkbox"/> 課題や疑問点を提起している <input type="checkbox"/> 仮説を設定している <input type="checkbox"/> 何を明らかにしたいか明確に示している	<input type="checkbox"/> 課題について説明している <input type="checkbox"/> マジックワード(曖昧な表現)がない <input type="checkbox"/> 課題に対して探究者自身が興味を持っている	<input type="checkbox"/> 課題が具体的(リサーチクエスト)になっている (課題研究メソッドp.52参照) <input type="checkbox"/> 課題に独自性(オリジナリティ)がある <input type="checkbox"/> 課題に研究の意義(生活・SDGsとの関わり)がある	点
<b>② 先行研究・事例の調査力</b> <定義>発見した課題に対して先行研 究・事例について調査する	<input type="checkbox"/> 他人からの伝聞, 一般的によく言われているような 事柄, 知識を参考に(引用)している <input type="checkbox"/> 参考・引用文献を明記している <input type="checkbox"/> 過去の一つの研究(事例)を先行研究として提示し ている	<input type="checkbox"/> 参考・引用した箇所が分かるように示している <input type="checkbox"/> 過去の <b>二つ以上</b> の研究(事例)を先行研究として提 示している <input type="checkbox"/> 情報元が信頼できる。 (wikipediaは信頼できない)	<input type="checkbox"/> 参考・引用した箇所を引用のルールに従い示してい る(課題研究メソッドp.26参照) <input type="checkbox"/> 先行研究・事例の調査をふまえた考えや疑問を示し ている <input type="checkbox"/> 過去の <b>二つ以上</b> の研究(事例)を <b>比較しながら</b> 先行 研究として提示している	点
<b>③ 探究活動の立案力</b> <定義>探究活動の目的を理解し, 適 切な計画を立案する	<input type="checkbox"/> 探究を進めるための計画を立案している <input type="checkbox"/> 目標を示している <input type="checkbox"/> 目標に合った計画になっている	<input type="checkbox"/> 実現可能な計画になっている <input type="checkbox"/> 必要な道具・場所を示している <input type="checkbox"/> 誰が見ても何をすることが分かる	<input type="checkbox"/> リスク管理が十分にされている <input type="checkbox"/> 計画の問題点, 研究手法の限界を示している <input type="checkbox"/> 結果を考察したのち, 次の計画を示している	点
<b>④ 探究活動の実践力</b> <定義>③の計画に基づき, 安全で適 切な実験操作や調査活動を実践する	<input type="checkbox"/> 計画に基づいた実験・調査を実践し, 記録している <input type="checkbox"/> 計画した内容を全て実践し, 記録している <input type="checkbox"/> 考察するための結果を得ている	<input type="checkbox"/> 安全性や個人情報保護に配慮し実践している <input type="checkbox"/> 考察のための複数の結果を得ている(調査・実験を 繰り返し行っている) <input type="checkbox"/> 調査・実験をしたときの条件(日時・場所・気候等)を 示している	<input type="checkbox"/> 目的に合った(定性or定量的な)結果を得ていて, 再 現性を確かめている <input type="checkbox"/> 結果を考察したのち, 再調査・追加実験をしている <input type="checkbox"/> 既存の学術分野における新たな発見につながる結 果を得ている	点
<b>⑤ 結果の分析・処理力</b> <定義>実験や調査などで得られた結 果を数値化し, 考察に向けて適切に分析 する	<input type="checkbox"/> 結果をグラフや図・表などでまとめている <input type="checkbox"/> 結果から何が分かるのか示している <input type="checkbox"/> 調査・実験した全ての結果に対し, それぞれまと めている	<input type="checkbox"/> 結果を目的に合ったグラフや図・表などでまとめてい る ※グラフの下, 図の上にはキャプションをつける <input type="checkbox"/> 結果の詳細(調査対象や日時・場所, 実施回数や数 値の単位など)を示している <input type="checkbox"/> 結果から分かることを, 既有知識や参考文献などを 元に客観的に, 論理的に示している	<input type="checkbox"/> 複数の調査・実験から得られた結果を比較し, まと めている <input type="checkbox"/> 結果について2つ以上の視点から分析している <input type="checkbox"/> 誤差や有意差についても分析している	点
<b>⑥ 結果の考察力</b> <定義>③~⑤の能力に基づいて, 結 果を考察する	<input type="checkbox"/> 探究で明らかになったことを示している <input type="checkbox"/> 仮説の真偽について考察している <input type="checkbox"/> 今後の展望を示している	<input type="checkbox"/> 仮説の真偽について, 実験結果, 調査結果を根拠と して考察している <input type="checkbox"/> 結果を正確に解釈している <input type="checkbox"/> 科学的推論を用いて考察している	<input type="checkbox"/> 結論から導き出される新たな課題を示している <input type="checkbox"/> 社会・学術分野にどのような貢献が見込めるかを 示している(課題研究メソッドp.15参照) <input type="checkbox"/> 帰納法・演繹法など, 説得力のある論理的手法を用 いている(課題研究メソッドp.112参照)	点
<b>⑦ 論理的表現力 (コラボティブ能力)</b> <定義>探究の結果と考察に整合性が あり, 研究内容を適切な資料を提示しな がら説得力をもって表現し, 他者の発表 に対して協働的な態度で適切に提案する	<input type="checkbox"/> 研究の目的, 手法, 結果, 考察を正しく文章で表現 している <input type="checkbox"/> チームで協同して探究に取り組み, 全員が内容を説 明することができる <input type="checkbox"/> 他者の発表に対して自らの考えを述べることができ る	<input type="checkbox"/> 効果的な技法(パラグラフライティング等)を活用して表現 している <input type="checkbox"/> 論理的にわかりやすく説明している <input type="checkbox"/> 他者の発表に対して協働的な態度で研究に対する 提案を提示している	<input type="checkbox"/> 論文として適切な用語・グラフや表を活用し, 説得力 のある表現をしている <input type="checkbox"/> 探究結果が社会に与える影響について, 根拠と共に 考察している <input type="checkbox"/> 他者の発表に対して新たな視点を導き出せるような 適切な提案を提示している	点

2年( )組( )番 氏名( )